

ドイツとの交流① 姉妹都市ディーツヘルツタール

ディーツヘルツタールとは

ディーツヘルツタールは、ドイツ連邦共和国中部のヘッセン州、広大な森林地帯の中にある自然豊かな美しい町です。人口は約6,000人（本市の10分の1）、面積は約37平方キロメートル（本市の約半分）です。



ディーツヘルツタールの風景

「石橋」から始まった交流



ディーツヘルツタールには、シュタインブリュッケン（日本語で石橋の意味）という地区があります。交流の始まりは、獨協医科大学名誉学長石橋長英博士（故人）が旧石橋町に橋渡しをしたことによります。昭和50年4月に姉妹都市となり、合併後も交流が続いていて、今年で43年目となります。

ディーツヘルツタールの庭園にある石橋

中学生相互派遣事業

3年に1回実施されているこの事業では、これまでに下野市（旧石橋町）から8回、ディーツヘルツタールから7回、中学生が相互派遣されてきました。ホームステイをしながらの学校訪問、市内施設見学、文化体験などが、子どもたちにとって、国際感覚を養う貴重な機会となっています。この事業をきっかけに、留学や国際的な職業を目指す学生もいて、世界に羽ばたく人材の育成に役立っています。



姉妹都市での記念撮影

ドイツとの交流② ミュンヘン大学生との交流

ミュンヘン市は、ドイツの南部、オーストリアやスイスの山岳地帯を望む、人口約135万人の商工業都市です。ミュンヘン大学は、18学部に約51,000人の学生が学んでいる総合大学です。

大学で日本語のクラスに所属している学生が、日本語や日本文化を学ぶために毎年8月、下野市で2週間のホームステイをしています。25回目となる今年は、7名の学生が下野市に滞在しました。滞在期間中は、日本語の授業を受けたほか、茶道、弓道、浴衣着付けなどの日本文化を体験しました。また、自治医科大学の学生との交流会も開催され、学生生活について意見を交換するなど、お互いにとって実りある時間を過ごすことができました。

来年も広報しもつけ6月号で、ミュンヘン大学生をお世話していただくホストファミリーを募集する予定です。ご興味のある方はぜひご応募ください。



浴衣着付け体験

下野市国際交流協会会員募集中！

下野市国際交流協会では、随時会員を募集しています。ご入会いただきますと、年に3回発行される会報（各種行事の案内が記載されます）が届くほか、外国語講座を受講できるようになります（有料です）。また、国際交流員イベントなどの協会主催のイベントにお安い会員料金でご参加いただけます。外国や国際交流にご興味のある方、外国人と交流してみたい方はぜひ入会をご検討ください。

■年会費

・個人会員 1口1,000円 ・学生会員 1口500円 ・ファミリー会員 1口2,000円 ・法人会員 1口5,000円

■申し込み・問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32)8887